

# アジアとヨーロッパの肖像

SELF and OTHER: Portraits from Asia and Europe

SELF  
and  
OTHER

- 会場：神奈川県立近代美術館 葉山 \*神奈川県立歴史博物館と同時開催です。  
〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1 tel:046-875-2800
- 会期：2009年2月7日(土)～3月29日(日) \*会期中に展示替えがあります。
- 休館日：月曜日、2月12日(木)、3月10日(火) \*県立歴史博物館と一部異なります。
- 開館時間：午前9時30分～午後5時(ただし、入場は午後4時30分まで)
- 観覧料：一般1000(900)円、20歳未満と学生850円(750円)、65歳以上500円  
\*( )内は20名以上の団体料金です。  
\*高校生以下と障害者手帳をお持ちの方は無料です。  
\*県立歴史博物館の特別展「アジアとヨーロッパの肖像」の観覧券の半券をお持ちいただくと  
優待料金(団体料金に準じます)でご入場いただけます。  
\*ファミリー・コミュニケーションの日：毎月第1日曜日(今回は3月1日)は、18歳未満または  
高校生以下のお子様連れのご家族の方は、全員無料で観覧いただけます。

主催：神奈川県立近代美術館、国立民族学博物館、朝日新聞社、アジア・ヨーロッパ財団

特別協力：大英博物館

後援：外務省、神奈川新聞社、**NHK**横浜放送局、**tvk**、横浜開港150周年協会、神奈川県博物館協会

協力：日本航空、日本通運、横浜美術館(横浜市芸術文化振興財団)

協賛：日本写真印刷

\*本展は国際交流基金の助成を受けています。

\*本展は神奈川開港・開国150周年メモリアルイベントです。



## 関連企画

### ◆担当学芸員によるギャラリー・トーク

2月11日(水・祝)、3月20日(金・祝) 14:00～14:30

申込不要、無料(ただし「アジアとヨーロッパの肖像」展の観覧券が必要です)

### ◆県立機関活用講座 全5回(要申込。申込方法等の詳細は別紙チラシをご覧ください)

2月14日(土) 12:00～14:00

「人を描く、自分を語る—『アジアとヨーロッパの肖像』」

吉田憲司(国立民族学博物館教授)

2月21日(土) 13:30～15:30

「南蛮屏風にみる異国へのまなざし」

日高薫(国立歴史民俗博物館准教授)

2月28日(土) 13:30～15:30

「17世紀オランダの肖像画と『異国』」

高橋達史(青山学院大学教授)

3月7日(土) 13:30～15:30

「アジア美術の近代—西洋との出会い」

ラワンチャイクン寿子(福岡アジア美術館展示収集係長)

3月14日(土) 13:30～15:30

「現代の肖像 移り変わる時代の表現」

安来正博(国立国際美術館主任研究官)

■お問い合わせ先：神奈川県立近代美術館 葉山

〒240-0111 神奈川県三浦郡葉山町一色 2208-1

Tel. 046-875-2915 Fax. 046-875-2968

企画担当：企画課長 水沢勉

企画課主任学芸員 杉山昌夫(主担当)

広報担当：普及課 山内舞子 土居由美

■展覧会情報は、美術館ホームページでもご覧いただけます。

美術館ホームページトップ <http://www.moma.pref.kanagawa.jp>



ASEMUS(アジア・ヨーロッパ・ミュージアム・ネットワーク)  
国際巡回展

「アジアとヨーロッパの肖像」は、ASEMUS（アジア・ヨーロッパ・ミュージアム・ネットワーク）の第1回国際巡回展です。神奈川県では、県立歴史博物館と県立近代美術館 葉山で同時開催となります。それぞれ特色ある活動を展開してきた両館が、初めて全面的に連携を組む新しい試みです。この展覧会では、アジアとヨーロッパの出会いを背景に、広い意味での肖像、すなわち人物表現を伴う絵画・彫刻・工芸・写真などに表現された自己と他者の姿の歴史的な展開を、5つの章で紹介します。

## 第1章 それぞれの肖像

アジアとヨーロッパの国々において、それぞれの伝統に基づいて描かれた自国の人物の肖像を紹介し、その自己像の多様さを確認します。



レンブラント・ファン・レイン《ベルベットの帽子をかぶる髯面の男》  
1637年 大英博物館（第2章）



東洲斎写楽《三代目佐野川市松の祇園町の白人おなよ》  
寛政6年 財団法人平木浮世絵財団  
（第1章 展示期間：2月7日～3月8日）

## 第2章 接触以前—想像された他者

アジアとヨーロッパが本格的に接触する前に、「異人」として想像して描かれた他者の姿を示します。

## 第3章 接触以後—自己の手法で描く

16世紀以降の本格的な接触によって、アジアからヨーロッパへの、あるいはヨーロッパからアジアへの憧れ、好奇心、恐れ、蔑視などが現れます。こうした関心から、他者理解が始まります。



作者不詳《南蛮屏風》（右隻）17世紀初期 神奈川県立歴史博物館（第3章 展示期間：3月11日～29日）

## 第4章 近代の眼—他者の手法を取り入れる

近代になってアジアとヨーロッパの接触の頻度が高まるにつれ、相手の手法や視点を取り入れて自己や他者を表現することが行われ、他者の多様性を認識し、あるいは他者を自己に重ね合わせることもありました。



高橋由一《花魁》1872年 東京藝術大学  
重要文化財（第4章）



ジュリアン・オビー《ファイルを持つヒロフミ》  
2005年 国立国際美術館（第5章）  
© Julian Opie, courtesy of SCAI Tokyo

## 第5章 現代における自己と他者

グローバル化する現代社会で、アジアとヨーロッパの両方に帰属する人々も生まれ、また、それとは異なる次元で自己と他者のアイデンティティが融合したり、逆転したりすることも生じています。

＊第5章は神奈川県立近代美術館のみの展示となります。



県立機関活用講座のお知らせ

# アジアとヨーロッパの肖像

## SELF and OTHER: Portraits from Asia and Europe

### 開催記念 連続講演会



#### ■日程■

##### 第1回:

2009年 2月14日(土) 12時00分-14時00分  
「人を描く、自分を語る - 『アジアとヨーロッパの肖像』」  
講師:吉田憲司(国立民族学博物館教授)

##### 第2回:

2009年 2月21日(土) 13時30分-15時30分  
「南蛮屏風にみる異国へのまなざし」  
講師:日高薫(国立歴史民俗博物館准教授)

##### 第3回:

2009年 2月28日(土) 13時30分-15時30分  
「17世紀オランダの肖像画と『異国』」  
講師:高橋達史(青山学院大学教授)

##### 第4回:

2009年 3月7日(土) 13時30分-15時30分  
「アジア美術の近代 - 西洋との出会い」  
講師:ラワンチャイクン寿子(福岡アジア美術館展示収集係長)

##### 第5回:

2009年 3月14日(土) 13時30分-15時30分  
「現代の肖像 移り変わる時代の表現」  
講師:安来正博(国立国際美術館主任研究官)

\* 全5回の講演のうち、4回以上受講した方には修了証を差し上げます。

#### ■申込み方法等■

- ◆会場: 神奈川県立近代美術館 葉山、講堂
  - ◆定員: 各回70名
  - ◆受講料: 各回1000円(全回5000円)  
1回~5回の任意の回数で申込み可能
  - ◆申込方法: ファクスまたは往復はがきに次のことを明記してお申し込みください。
    - 1) 受講希望の回(例:第1回と第3回・・・)
    - 2) 氏名(ふりがな)
    - 3) 郵便番号、住所
    - 4) 電話番号、ファクス番号
  - ◆申込先: 〒240-0111  
三浦郡葉山町一色2208-1  
神奈川県立近代美術館 管理課  
「県立機関活用講座」係  
FAX: 046-875-2574
- ※受講料は受講日ごとに、会場受付にて現金でお支払いください。

#### ■FAX申込み用紙■ FAX:046-875-2574 神奈川県立近代美術館「県立機関活用講座」係 行き

※下の欄にご記入の上、切り取らずに送信してください。

お申込み回	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
希望回に○をつけてください。 (第1回のみ開始時間が異なります)	2/14 12時00分~	2/21 13時30分~	2/28 13時30分~	3/7 13時30分~	3/14 13時30分~

お名前(ふりがな)

ご住所 〒

電話

ファクス

アジアとヨーロッパの肖像  
SELF and OTHER: Portraits from Asia and Europe  
2009年 2月7日 [土] - 3月29日 [日]

関連企画

◆担当学芸員によるギャラリー・トーク  
2月11日(水・祝)、3月20日(金・祝) 14時00分~14時30分  
申込不要、無料(ただし展示会の観覧券が必要です)